

《 未来へつなぐ 安全・安心な水 》

四国中央市の水道

70<sup>th</sup>



中田井浄水場全景（令和2年10月撮影）



四国中央市水道局





## 目 次

ごあいさつ .....	1
四国中央市の水源地 .....	2
水道水が届くまで .....	3
水道施設は重要なライフライン .....	4
安全でおいしい水道水 .....	5
水道事業の財政状況等 .....	7
水道事業のあゆみ .....	8

本市の水道事業は、昭和29年11月、町村合併により川之江市と伊予三島市が誕生し、市の水道事業としてスタートしてから70年を経過いたしました。

平成16年には、平成の大合併により四国中央市が誕生し、それまで両市の一部事務組合として活動してきた銅山川上水道企業団に代わり、四国中央市水道局として、土居地域に複数あった簡易水道事業を土居地域水道事業として順次統合してまいりました。また、令和2年度からは、新宮地域の簡易水道事業に地方公営企業法を全適用し、土居地域水道事業とともに四国中央市水道事業と経営統合を行い、現在では2つの水道事業と2つの簡易水道事業を管理運営しております。

これまでも安全・安心な水をスローガンに絶え間なく供給してまいりましたが、引き続き、市民の皆様にあいさされ信頼される水道事業を目指して自然災害や南海トラフ巨大地震に備えた耐震化・老朽化対策などに取り組み、一層の安定給水ができるよう職員一同取り組んでまいりますので、ご理解を賜り、変わらぬご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和7年 11月

四国中央市水道局 水道局長 宮 下 浩

# 四国中央市の水道水源地

≪ 我が家の水道水はどの水源？ ≫

水道局では、市内9か所の水源から取水し安全でおいしい水道水を 24 時間休むことなく作り続けています。

三島川之江地域は、柳瀬ダムと富郷ダムの2つのダムの水を水源としています。土居地域では、小富士長津地区は小富士長津第1水源のほかに予備水源を含む2つの水源があり、土居地区と関川地区、北地区についてはそれぞれ2つの水源を有しています。また、新宮地域については、新宮地区と北東部地区にそれぞれ1つの水源となっています。このほか、山間部に多数ある小規模水道もそれぞれ水源を有しています。



新宮浄水場

## 四国中央市内9か所の水源地



① 富郷ダム



② 柳瀬ダム



④ 新宮北東部浄水場



⑦ 小富士長津第3水源



⑩ 関川水源

水源別	地域	水源
三島・川之江	三島・川之江 (金砂・富郷を除く)	① 富郷ダム
		② 柳瀬ダム
新宮	新宮、馬立	③ 和田小屋川
新宮北東部	上山	④ 根木谷
土居 (小富士長津)	藤原、中村、小林、 野田、津根	⑤ 小富士長津第1水源
		⑥ 小富士長津第2水源 (予備水源)
		⑦ 小富士長津第3水源
土居 (北)	土居、天満、燕崎	⑧ 上天満水源
土居 (土居)	土居、畑野、入野、浦山	⑨ 土居水源
土居 (関川)	上野、北野	⑩ 関川水源



# 水道水が届くまで

《 皆さまのご家庭に水道水を届けます 》

金砂湖（柳瀬ダム）



三島川之江地域の水道事業では、ダムの水を水源として中田井浄水場において浄水処理を行い、浄水場から直接給水する自然流下のほか高台にある配水池などから皆さまのご家庭に水道水を供給しています。

土居地域については、地下水を水源として次亜塩素酸により消毒し、配水池などを経由して給水を行っています。また、新宮地域についても同様の方法により、河川水を浄水場できれいな水にしたのち消毒し、皆さんのご家庭に安全・安心な水道水を送っています。

## 水道水が届くまで

わたしたちのくらしになくはならない大切な水。水道の水は、どのようにしてつくられ、どこから送られてくるのでしょうか。

わたしたちの家や学校のじゃ口まで水を送るためには、もともとの水をとるために水源が必要です。伊予三島地域と川之江地域の水道では、銅山川の水を水源としています。

銅山川の水は、富郷ダムと柳瀬ダムにたくわえられ、長いトンネルを通り、上柏町にある銅

山川第一発電所にたどりつき、電気をつくるのに利用されます。そのあと赤之井川を流れ取水口から取り入れられたり、富郷新水井から取り入れられたりして、浄水場（水道水の製造工場）まで運ばれます。

そして、浄水場の中の多くの施設を通過してきれいな水になり、そこからまた、長い道のりをへて、わたしたちの家庭や学校などへ送られています。

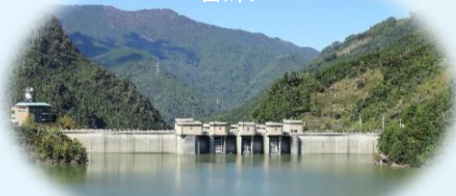
## 土居地域と新宮地域の水道

土居地域の水道は、地下水を水源としています。地下水をくみ上げて、消毒するための薬品を入れています。

また、新宮地域の水道は、川の水を浄水場できれいな水にして、消毒するための薬品を入れて、みなさんの家庭や学校などへ送られています。



富郷ダム



中田井浄水場



取水口



蛇口（給水栓）



配水池



# 水道施設は重要なライフライン

◀ 災害に備えた耐震化や老朽施設の更新を進めています ▶



水道施設は、日々の市民生活に欠かすことのできない重要なライフラインです。

水道局では、南海トラフ巨大地震などの大規模災害時における断水被害を軽減し、少しでも皆さまの生活に支障をきたすことのないよう各種施設や配水管の耐震化を進めています。

また、日々の安定した給水を行うため老朽化した配水管の更新等にも積極的に取り組んでいます。



## 大規模な地震が起きたらどうなるの？

2024年1月に発生した能登半島地震では、水道管だけではなく配水池などの施設も被害を受けたことにより断水が発生し、長期間に渡り水道水を供給できない状況となりました。

当市においても、このような大規模災害時における断水被害等を減らすため、水道施設の更新や耐震化を進めるとともに既存施設の点検・維持管理に努めています。

なお、断水時に備えて応急給水車（積載量1,700ℓ・2,000ℓ）を2台配備するとともに、給水所に設置する応急給水タンクなどの備蓄にも取り組んでいます。また、日頃からの防災意識の向上を目的として、市民の皆さまを対象に市の防災訓練や産業祭などにおいて応急給水体験なども実施しています。



# 安全でおいしい水道水

◀ 皆さまのお宅に安全・安心な水を24時間365日お届けしています ▶



水道局では、水道法によって定められた51項目の水質基準項目のほか水質管理目標設定項目などの水質検査を行い、安全・安心な水道水を作るため水源の水質にあわせて最適な量の塩素等を自動注入し、皆さまの家庭に24時間365日水道水を供給しており、水質検査の結果については市のホームページで公表しています。なお、ペットボトル水は、食品衛生法に基づく44の項目について検査されています。

それでは、おいしい水とはどのようなものなのでしょうか・・・？

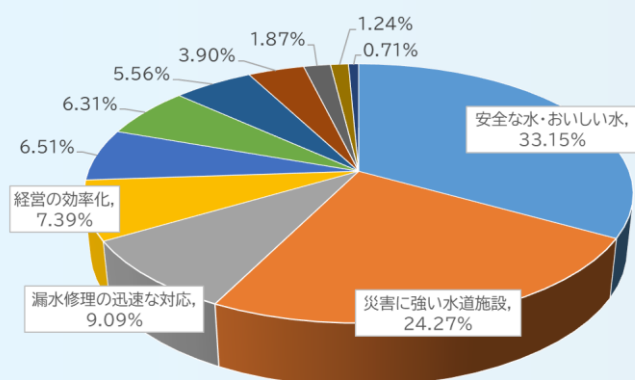
「おいしい水研究会」(昭和59年に厚生省(当時)が設立)が、「おいしい水の要件」として味に影響する7つの項目について、具体的に数値を定めていますので、本市の水道水と比べてみましょう。

## 四国中央市の水道水

令和6年度平均値

水道区分		上水道	簡易水道		上水道				区 分
水源区分		表流水			地下水				
水 源 別		三島・川之江	新 宮	新宮北東部	土 居 (小富士長津)	土 居 (関 川)	土 居 (土 居)	土 居 (北)	
水質項目	おいしい水数値								
蒸発残留物	30～200mg/L	47mg/L	72mg/L	111mg/L	103mg/L	106mg/L	111mg/L	97mg/L	ミネラル
硬度	10～100mg/L	25.3mg/L	22.4mg/L	29.6mg/L	60.4mg/L	70.0mg/L	57.5mg/L	48.5mg/L	
遊離炭酸	3～30mg/L	0.5mg/L未満	0.9mg/L	0.9mg/L	15.8mg/L	3.3mg/L	3.3mg/L	3.3mg/L	炭 酸
過マンガン酸 カリウム消費量	3mg/L以下	0.1mg/L	0.8mg/L	0.8mg/L	1.2mg/L	0.4mg/L	0.5mg/L	0.7mg/L	有機物
臭気強度	3以下	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満	におい
残留塩素	0.4mg/L以下	0.30mg/L	0.76mg/L	0.57mg/L	0.30mg/L	0.32mg/L	0.23mg/L	0.33mg/L	
水温	最高20℃以下	18.2℃	18.5℃	17.6℃	21.4℃	18.7℃	17.5℃	20.3℃	温 度

水道事業に期待する市民アンケート結果 (R1年度実施)



第5位以下については、情報提供や漏りや断水をなくす、地球環境に配慮、水の出を良くする、料金の支払い方法を増やすなどがあります。

当市の水道水は、水源の区分により数値が異なりますが、概ね「おいしい水の要件」に合致しており、おいしく飲んでいただくことができます。

水は、硬度により軟水や硬水に分けられますが、一般的には、蒸発残留物が、軟水は0～60mg/L、中硬水が61～120mg/L、硬水が121～180mg/Lとなっており、三島川之江地域や新宮地域の水は軟水で、土居地域の水については軟水から中硬水の水質となっています。



## 四国中央市の水道水はどこで検査しているの？

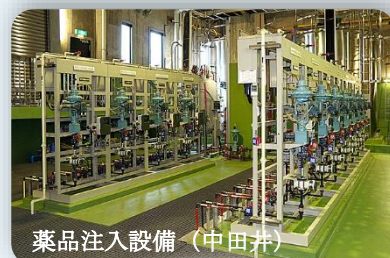
中田井浄水場にある浄水管理センターにおいて、水源の水を始め皆さまのご家庭にお配りする水道水の水質を職員が責任を持って検査しています。また、安全・安心な水を届けるため、市内の施設の給水栓においても水質の確認を行っています。

このほか浄水管理センターでは、市が管理する施設や民間施設の水道水の水質検査なども受託して行っています。

市内には、水源地や配水池、ポンプ場など多くの水道施設がありますが、各施設は無人数化されており、中田井浄水場の中央管理室において三島川之江地域、土居地域、新宮地域から送られてくる情報を一括管理するとともに各施設の機器等の状況を24時間監視し、安全な水道水を皆さまのご家庭まで確実に給水できるよう常に最適な施設運用に努めています。



給水栓での水質確認



薬品注入設備（中田井）



中央管理室



水質検査



浄水管理センター  
(中田井浄水場管理本館)



滅菌設備（土居地区）



漏水調査

# 水道事業の財政状況等

◀ 持続可能な水道事業運営を目指して ▶

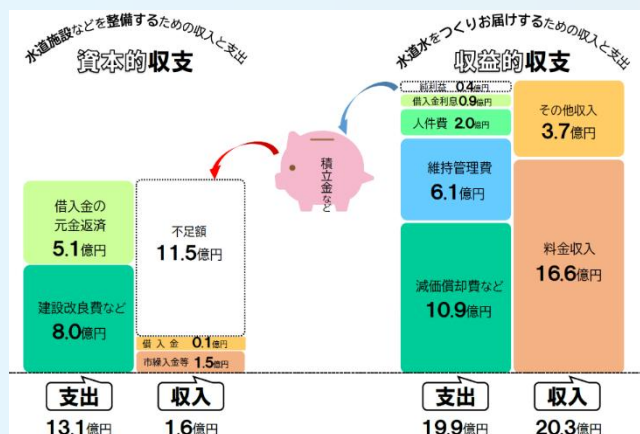


皆さまから頂いた水道料金は、施設の維持管理費用や水道メーターの検針業務、料金徴収業務、職員の人件費などのほか、施設の耐震化や老朽化更新の費用に充てられています。

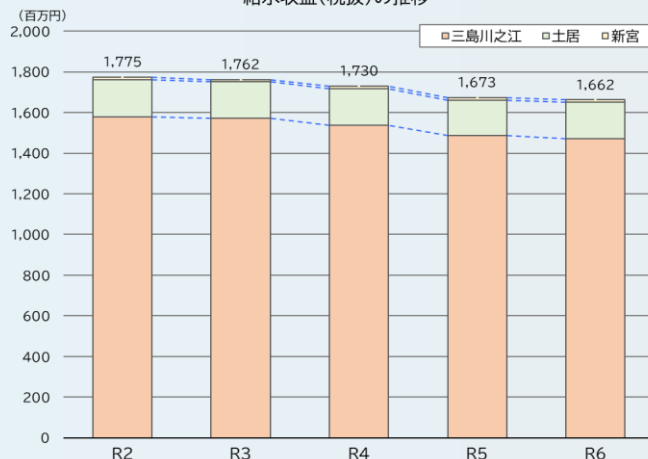
令和6年度の決算では、4,000万円余りの当年度純利益を計上することができましたが、給水人口の減少等に伴い水道料金収入が年々減少傾向にあり、非常に厳しい経営状況となっております。

今後も安全・安心な水道水を安定的に供給していくためには、水道施設を健全に保っていくことが必要であり、令和2年度に策定した経営戦略に基づき優先度を考慮しながら着実に更新整備等を進めてまいりますが、そのためには多くの費用が必要となるため、施設の統廃合や一層の事務の効率化等を図りながら定期的に適切な料金水準への見直し検討を行い、将来に渡って持続可能な水道事業の運営に努めてまいります。

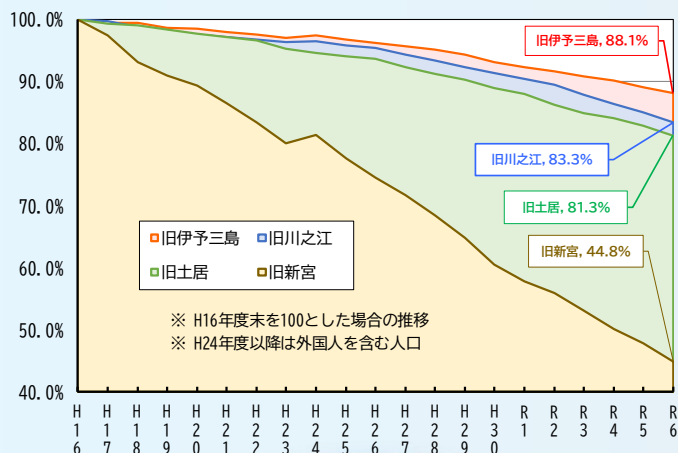
○ 令和6年度の決算状況（R7.11月広報誌掲載分より）



給水収益(税抜)の推移



旧市町村別人口（年度末）の推移



## 本市の水道料金はどれくらい？

本市の水道料金(※1)は地域毎に異なっており、水道事業では三島川之江地域が3,300円、土居地域が1,980円、簡易水道の新宮地域は2,200円となっています。水道事業の令和6年4月1日現在の全国平均は約3,370円、県内平均が約3,580円となっており、全国平均や県内平均と比べて低い水準となっています。

(※1) 使用水量を20 m<sup>3</sup>/日とした場合の家庭用水道料金(税込)



# 水道事業のあゆみ

《 水道事業の『これまで』と『これから』 》



本市の水道は、昭和25年に三島町が水道布設事業の認可を取得したのが始まりであり、その後、昭和29年の町村合併により市制が施行されたことにより、現在の四国中央市の前身である伊予三島市、川之江市それぞれの上水道となりました。しかしながら、川之江市では地下水の枯渇と水質の悪化が進み、安定した水源の確保が困難な状態となったことから、昭和36年に両市の間で『雨宝浄水場の管理と原水取水施設の共同使用に関する協定』が結ばれ、赤之井川発電放流水を水源として本格的な共同運営を開始いたしました。その後、給水人口の増加や生活水準の向上等による水需要の増大に対応するため、早明浦ダム関連事業を含めた形で拡張事業に着手したものの、整備拡張には莫大な費用がかかることや水源開発などを一市単独で進めていくことは大変困難であることから、より経済的・合理的な運営を図る目的で昭和43年4月1日に両市の水道事業を統合した『銅山川上水道企業団』が設立され、第一次・第二次拡張事業を実施し水需要の増大に対応してきました。

また、平成16年4月には、平成の大合併により宇摩郡の2市1町1村が合併し「四国中央市」が誕生したことから、企業団を解散し四国中央市水道局の四国中央市水道事業として事業を継続して現在に至っています。

土居地域では、昭和23年に簡易水道の天満村出店水道創設認可を皮切りに順次多くの地区で簡易水道事業が創設され、その後も簡易水道の創設や変更が進められ、平成9年には土居地域水道事業(平成16年に小富士長津地区水道事業へ名称変更)が創設され、令和2年度には1上水道と3簡易水道を統合し「土居地域水道事業」といたしました。

一方、新宮地域の新宮地区では、昭和47年に中西・宮川地区簡易水道が創設され、昭和62年には変更認可を受け新宮村簡易水道となり、平成16年の四国中央市の誕生に合わせて新宮地区簡易水道事業へと名称変更しました。また、北東部地区では、平成4年に新宮村北東部簡易水道を創設し、平成16年に新宮地区北東部簡易水道へと名称変更しました。その後、令和2年には、より効率的な事業運営を行うため、これらの2つの簡易水道事業を法適化し土居地域水道事業と合わせて四国中央市水道事業に経営統合しました。

近年は、人口減少等に伴い水需要が減少傾向にあり、今後も水需要の伸びはあまり期待できない状況となっていることから、引き続き、持続可能な水道事業の経営を継続していくためには、適正な料金水準への見直しや施設の統廃合、スケールメリットを生かした維持管理費の削減などに取り組む、市民サービスの向上と持続可能な事業運営を目指して取り組んでいく必要があります。



中曽根(雨宝)浄水場 (S29 創設時)



中田井浄水場 (S37 頃)









新宮北東部浄水場



新宮浄水場



山手から望む市内製紙工場群



四国中央市水道局庁舎

《 編集 》 令和7年11月

四国中央市水道局 水道総務課  
愛媛県四国中央市中曽根町25番地  
TEL 0896-28-6452





令和6年2月、市発足 20 周年に合わせ、市の一体感の醸成を図ることを目的として、紙の原料となる「ミツマタ」の花を「紙のまち四国中央市」のシンボルとして『市の花』に制定いたしました。

(ミツマタは、ジンチョウゲ科に属する中国やヒマラヤ地方原産の落葉低木で、2～3 月頃より枝先に黄色い花がポンポンのように咲くため、ミツマタは「春を告げる花」とも言われています。)

市の花の制定と併せ、旧土居町の木にも制定されていた「五葉松」が四国中央市の『市の木』として制定されました。

盆栽の女王と呼ばれる「赤石五葉松」は世界的にも評価が高く、東赤石山に太古より自生する松の原種で、愛媛県の指定天然記念物にも指定されており、四国五葉松(四国中央市)は、吾妻五葉松(福島市)や那須五葉松(那須地域)とともに日本三大五葉松と言われています。

(四国五葉松は、西日本で最高峰となる石鎚山系の亜高山帯に産する五葉松の総称で、赤石山系と石鎚山系の2つに大別できます。)

